

追 悼 演 奏

演奏者
今井 奈緒子
東北学院大学教養学部教授
大学オルガニスト

【 曲 目 】

J. S. バッハ作曲

ファンタジーとフーガ ハ短調 BWV537

コラール編曲 「我汝を呼ぶ、主イエス・キリストよ」 BWV639

「我ら悲しみの極みにありて」 BWV668a

「心に主イエスを」（教会カンタータBWV147より）

【 曲目について 】

バッハのヴァイマル時代後期に作られた**ファンタジー ハ短調**は、長く伸ばされたペダル低音の上に、悲痛な面持ちと「ため息」の音型を交えて進みます。**フーガ**は一転して決然とした性格を持ち、救いへの確信を紡いで行きます。**コラール編曲「我汝を呼ぶ」**は、その表情豊かな旋律と歌詞のいずれも、M. ルターの弟子で神学者のアグリコラが作者とされています。46 曲のオルガン・コラールが収められた『オルガン小曲集』の中で唯一の3 声曲であり、両手とペダルに割り振られた3つの声部が、それぞれ異なる動きを見せます。**「我ら悲しみの極みにありて」**はオルガン小曲集にも美しい編曲がありますが、こちらは同じくヴァイマル時代に書かれ、後年ライブツィヒ・コラールと呼ばれるようになった十数曲の一つです。バッハが「汝の御座の前に われはいま進み出で」の名で校訂を加えた稿は完結せず、それが絶筆と伝えられてきました。**「心に主イエスを」**は、日本では「主よ、人の望みよ喜びよ」と呼び習わされていますが、原曲は教会カンタータ第 147 番「心と口と行いと生活をもて」の第 6 曲と終曲として、弦楽器の伴奏に乗せた合唱によって歌われます。本日はオルガン用編曲でお聴きください。

なお前奏の**「深き淵より」**は、ルター作の悔い改めのコラール編曲です。バッハ唯一の6 声によるオルガン曲で、北ドイツ・オルガン楽派の古様式に則り、ペダルが2 声を担い重厚な響きを聞かせます。

【 演奏者プロフィール 】

東京藝術大学オルガン科、ドイツ・フライブルク音楽大学卒業。オルガンを河野和雄、廣野嗣雄、ジグモント・サットマーリの各氏に師事。1985年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに入賞。日本・ヨーロッパ各地における積極的なソロ活動のほか、経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。

現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会・日本オルガン研究会会員。

東 北 学 院

東日本大震災追悼礼拝

学 校 法 人 東 北 学 院

東北学院東日本大震災追悼礼拝次第

日 時：2012 年 3 月 11 日（日）14 時 30 分
場 所：東北学院大学多賀城キャンパス礼拝堂
司 会：常 任 理 事 柴 田 良 孝
奏 楽：教養学部教授 今 井 奈緒子

追 悼 礼 拝

開 会		
前 奏	コラール編曲「深き淵より、われ汝に呼ばわる」BWV686 J. S. バッハ作曲	
讃 美 歌	3 1 2 番	一 同
聖 書 朗 読	新約聖書 テサロニケの信徒への手紙一 第 5 章 9 節～2 2 節	
	宗教部長 佐々木 哲 夫	
祈 禱		同 上
黙 禱		一 同
式 辞	理 事 長 平河内 健 治	
頌 栄	5 4 4 番	一 同
終 禱		

追 悼 演 奏

追 悼 演 奏	教養学部教授 今 井 奈緒子
閉 会	

讃 美 歌 3 1 2 番



1 いつくしみ深き 友なるイエスは、
罪とが憂いを とり去りたもう。
こころの嘆きを 包まず述べて、
などかは下さぬ、負える重荷を。

2 いつくしみ深き 友なるイエスは、
われらの弱きを 知りて憐む。
頼みなしみに 沈めるときも、
祈りにこたえて 慰めたまわん。

3 いつくしみ深き 友なるイエスは、
かわらぬ愛もて 導きたもう。
世の友われらを 棄て去るときも、
祈りにこたえて 労りたまわん。

新約聖書 テサロニケの信徒への手紙一 第 5 章 9～2 2 節

9^{かみ} 神は、わたしたちを怒りに定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる
救いにあずからせるように定められたのです。主¹⁰は、わたしたちのために死なれましたが、そ
れは、わたしたちが、目覚めていても眠っていても、主と共に生きようになるためです。11
から、あなたがたは、現にそうしているように、励まし合い、お互いの向上¹²に心がけなさい。
兄 弟たち、あなたがたにお願ひします。あなたがたの間で¹³労苦し、主に結ばれた者として導
き戒めている人々を重んじ、また、そのように働いてくれるのですから、愛をもって心から
尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。兄 弟たち、あなたがたに勧めます。怠けている者
たちを戒めなさい。気落ちしている者たちを励ましなさい。弱い者たちを助けなさい。すべて
の人に対して忍耐強く接しなさい。だれも、悪をもって悪に報いることのないように気をつけな
さい。お互いの間でも、すべての人に対しても、いつも善を行 うよう努めなさい。
18^{よろこ} いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリ
スト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。19^{いの} “霊”の火を消してはいけ
ません。20^{よげん} 預言を軽んじてはいけません。すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。22^{あらゆ}
る悪いものから遠ざかりなさい。

頌 栄 5 4 4 番



あまつみたみも、
地にあるものも、
父、子、みたまの
かみをたたえよ。

東北学院 東日本大震災追悼礼拝

未曾有の大災害となった2011年3月11日の東日本大震災。津波被害を受けた多賀城市にある東北学院大学多賀城キャンパスもまた、被災地でした。震災直後は避難した市民の受け入れや支援物資の保管などまさに最前線の避難所としての機能を果たすことができました。

あの日から一年。3月11日には内閣府による東日本大震災追悼式が挙行される予定です。また、仙台市や多賀城市などの各自治体においても合同慰霊祭が開催されることになっています。

東北学院におきましても、犠牲となられました方々を追悼し、復興に向けた誓いを新たにするために、「東北学院東日本大震災追悼礼拝」を開催いたします。以下のとおりご案内申し上げます。

日時 2012年 3月11日(日)
午後2時30分から【約1時間の予定】

内容 追悼礼拝
追悼演奏

会場 東北学院大学
多賀城キャンパス礼拝堂

【多賀城市中央一丁目13-1】



- JR 仙石線「多賀城駅」から徒歩5分
- JR 東北本線「国府多賀城駅」から徒歩15分

お問い合わせ先



学校法人 東北学院

庶務部庶務課
Tel.022(264)6464

J.S. バッハ作曲

コラール編曲「深き淵より、われ汝に叫ぶ」BWV688 (礼拝前奏)
ファンタジーとフーガ ハ短調 BWV537

コラール編曲「我汝を呼ぶ 主イエス・キリストよ」BWV639
「我ら悲しみの極みにありて」BWV668a
「心に主イエスを」(教会カンタータ BWV147 より)

演奏者：今井奈緒子教授

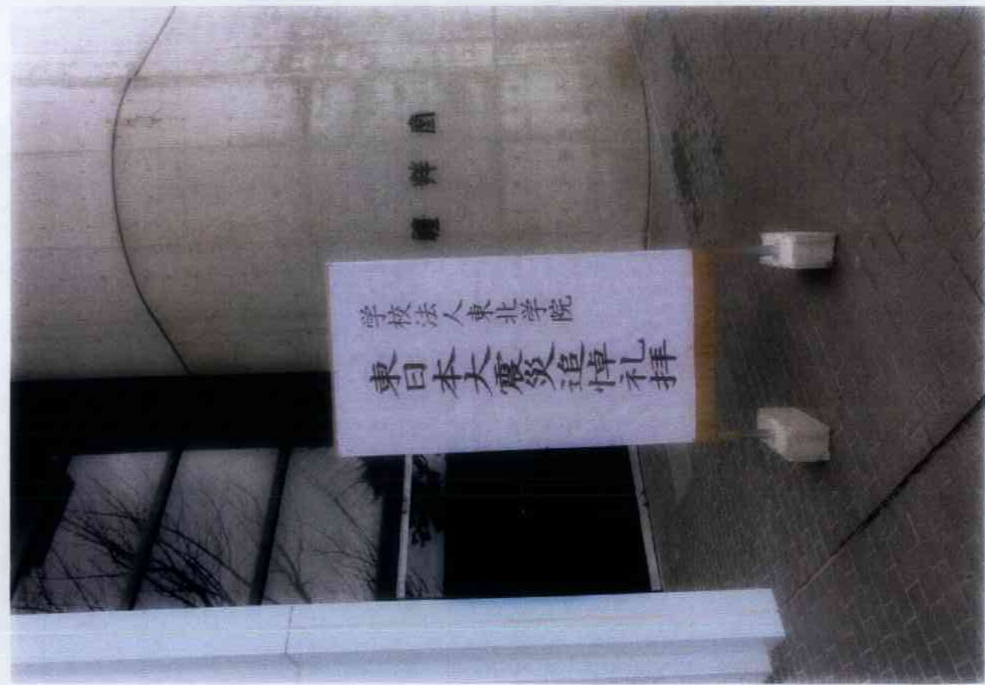
(東北学院大学教養学部教授・東北学院大学オルガニスト)

東京藝術大学オルガン科、ドイツ・フライブルク音楽大学卒業。1985年ドイツ・ゲオルグ・ベーム国際オルガンコンクール、88年ベルギー・ブルージュ国際バッハ・コンクールに入賞。日本・ヨーロッパ各地における積極的なソロ活動のほか、経験豊かな通奏低音・アンサンブル奏者として共演者から信頼を得ている。

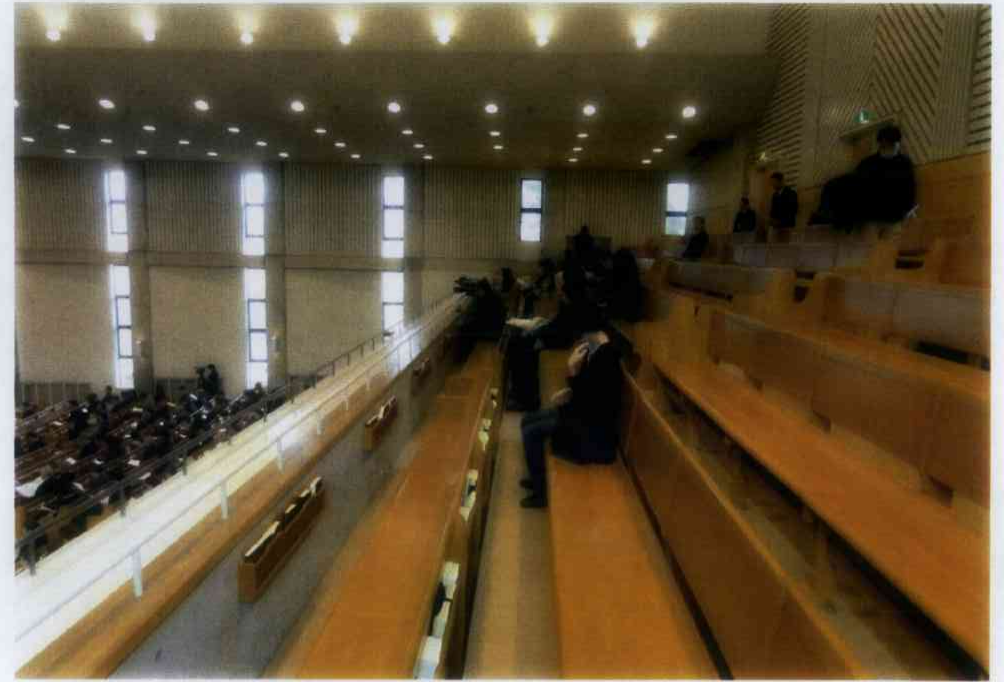
現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会、西片町教会オルガニスト。日本オルガニスト協会・日本オルガン研究会会員。

当日は、平服でお越しください。

お車でお越しの場合は、
駐車場を準備しておりますが、
台数に制限がありますので、
予めご了承ください。









本日は、東北学院・東日本大震災追悼礼拝にご参列をいただき、心から感謝申し上げます。大震災によって、東北学院では、大学生が五名と高等学校生徒二名が若くしてその尊い命を奪われました。平成二十三年度入学予定の学生生徒四名も犠牲となりました。教職員家族にも犠牲者が出ております。私たちの友人知己にも多くの犠牲者があります。三月六日付けの警察庁のまとめでは宮城県震災による死亡者は九五一二人、行方不明者は一七五四人と数えられております。岩手、福島両県をも合わせた全国の犠牲者のおよそ六十パーセント近くが宮城県に集中しております。謹んで、亡くなった方々のご冥福を祈り、ご家族の方々には衷心より哀悼の意を表したいと思ひます。

今礼拝を奉げているこの東北学院大学多賀城キャンパス礼拝堂は命からがら逃げ込み救われた多賀城地区の被災者やドイツからの旅行者などの避難場所となったところであります。人によっては、あの日あの時の悪夢のような出来事やその後の試練や苦難を思い出す場所となり、怯え、悲しみ、辛さ、悔しさ、怒り、うらみ、せつなさ、鬱などを再体験してしまい、できれば、近寄り難い所であるかもしれません。また、ある人にとっては、救いと安全安心を再体験できる憩いの場でもあるかもしれません。

私自身は、三月十三日にやっと仙台方面から多賀城キャンパスを訪れることができ、翌十四日にキャンパス近辺に赴くことができましたが、大学と幼稚園の教職員や多賀城市職員や緊急支援隊の大混乱の中での昼夜を^お含かない献身的援助活動とその労苦、実家と肉親を津波で失った人の憔悴しきった姿、東松島から大学に避難した家族から聞く命の危険に晒された話、避難した幼稚園保護者と園児の疲れきった歩み、多賀城八幡地区での瓦礫化した建物や四方の壁の抜けた残骸、ヘドロの嫌な匂い、隣家の狭い二階部分でかろうじて避難生活する方を見舞い、粉塵による感染症への心配、四十五号線に二段に積み重ねられた流出した車の列、ガソリンスタンドに並ぶ車の長い列等と、思ひ出としては辛く悲しく受け容れ難いものが多くあります。

しかし、どのような感情や想いの体験過程があっても、それらを生身のからだで感じている今の現実としてあるがままに受け容れられる時、自分が今現に生かされているという事実と感謝の念に辿り着きます。率直に神に感謝したいと思ひます。

また、震災が天罰であると言われたり、原発事故被災のふるさとの無残な姿を死の町と表現されたりと、被災者の心を無視した無慈悲な言葉にも傷ついた人もおられたかと想ひます。喪失感に打ちひしがれた者にとっては、天災によってであれ、人災によってであれ、被災したもののの中に「人」を感じて生きております。

たとえ瓦礫と言われるものになっても、そこには生きた思い出があり、人間の営みを残し、愛の交流が想起されます。さらに、愛する者が自分の身代わりとなって亡くなったのだから、その分生きて欲しいと慰撫されることもあります。労わりの心は感じて、本当の慰めにはならなかった方もおられたかと想います。

聖書は言います。「神は、わたしたちを怒りに定めたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる救いにあずからせるように定められたのです」と。天災であれ人災であれ、それは神の怒りによる天罰ではありません。また、イエス・キリストがすでに人類の罪を背負い身代わりとなって死んでくださっています。死者はわたしたちの身代わりで亡くなったのでもありません。聖書はさらに続けます。「主は、わたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが、目覚めていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです」と。イエス・キリストは四六時中わたしたちと共におられ守ってくださいているので、安心して生きていけるということです。

死者は今キリストと共に天上にいます。先程一分間の黙祷をそれぞれに、そして、共に奉げました。死者へ呼びかけ、死者との対話ができたことと想います。キリストはそこに介在し、死者との霊的愛の交流を可能にしてくださる方です。すでにわたしたちのために死んでくださった主は死者とともに、そして、わたしたちこの世にある者とともににおられます。わたしたちは孤立した存在ではありません。キリストを通して、亡くなった愛する者と共にいることができます。亡くなった愛する人たちはキリストと共にわたしたちが精一杯生きることが望んでおられます。

だからこそ、わたしたちは「励ましあい、お互いの向上に心がけ」、互いに尊敬し、いつも善を行なうよう努めることができます。だからこそ、わたしたちは「いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝する」ことができるのです。

先程は讃美歌の三一二番を歌い、イエス・キリストの父なる神を賛美し、いつくしみ深き友なるイエスに呼びかけ、慰めと労わりを祈りました。この後も頌栄を賛美し、終祷を奉げていただき賛美と祈りの時をもちます。そして、その後のパイプオルガン追悼演奏を聴きながら共に神を賛美し、慰めと労わりを再び祈りたいと思います。これによって、死者との霊的愛の交流が生まれ、復旧・復興への推進力が生まれることを祈念して、東北学院・東日本大震災追悼礼拝の式辞といたします。

平成二十四年三月十一日

学校法人東北学院

理事長 平河内 健治

[illegible]

1年前のこの日、午後2時46分に東日本大震災が起き、津波により、大勢のいのちが奪い去られ、私たちの日常は一変致しました。

東北学院大学多賀城キャンパス礼拝堂にも、300名ほどの方々が津波の難を逃れ、避難所生活の数日間を過ごされました。東北学院は、9名の学生生徒の命が奪われ、2名の学生がいまだ行方不明です。また、教職員の家族や住居に甚大な被害を被りました。

この一年間、復旧・復興に鋭意取り組んで参りましたが、こころの傷手は消えることはありません。日本国をあげて追悼の意を表するこのときに、私たちも心をあわせ、追悼の黙祷を捧げたいと思います。

なお、政府主催の追悼式には、星宮学長、仙台市主催の追悼式には、斎藤副学長、多賀城市主催の追悼式には、遠藤銀朗教授が出席し、皆様と共に追悼の黙祷を捧げます。

当日 時間都合により
カット

2時46分からの一分間、追悼の黙祷を捧げます。

どうぞご起立下さい。

〔午後2時46分00秒〕 黙祷！

詳細データ

大学 死亡5名 不明者2名

高校 死亡3名

中学 死亡1名

H24.3.11 東北学院東日本大震災追悼礼拝スケジュール

日 時 : 平成24年3月11日(日) 14:30～

場 所 : 多賀城キャンパス礼拝堂

出席者 : 東北学院教職員、教職員家族、理事監事評議員、多賀城礼拝堂避難者、
ボランティアステーション関係者学生、近隣住民

【 事前準備 】

- 奏楽者 今井奈緒子先生には、13日付け奏楽依頼と選曲依頼済み。[庶務課]
- ご遺族へ式出席の確認。亡くなられた学生生徒の氏名掲載について保護者確認[各部門]
出席確認後、ご遺族へ案内文送付。[庶務課]
→ ご遺族の心情を考え掲載と案内をしないこととなった。
- 来賓(理事・監事)への案内文送付。[庶務課]
→ 2/22 付で発送
- 評議員への案内
→ 3/2 評議員会にて付配付
- 多賀城キャンパス職員への協力依頼。[庶務課]
→ 2/28 多賀城キャンパスにて打合済
- 駐車場・式場案内看板作成。[庶務課]
→ 多賀城庶務へ学内便
- チラシ・ポスターの作成。[広報課(藁科氏)]
→ 中高・榴・幼・校友・大学各キャンパスへ発送済
- ホームページ・無料新聞広告への掲載。[広報課]
- 生花の手配。[庶務課]
→ グリーnhausへ3/1 多賀城礼拝堂下見済。籠盛り花一つ。15000円 3/9 15時納品
- 奏楽者への謝礼準備。(譜めくりアルバイトの有無確認。)[庶務課]
→ 3/1 予算措置済 今井先生 10000円 学生 5000円
※ 今井先生謝礼辞退
- 式次第の作成。[庶務課]
- 備品借用(腕章5、カウンター2、無線機4台[多賀城管財より])

【 当日業務 】

当日 13:00 多賀城礼拝堂集合（多賀城職員は12:30）

○ 多賀城事務室担当 【仲丸】

○ 駐車場整理・誘導 4名 正門前、東門前、工学基礎センター東前・西前
【大宮司・多田・佐々木・森谷】

○ 礼拝堂内暖房 1名 施設課へ依頼 12:30～
【佐藤定男】

○ 礼拝堂内担当（照明・放送設備）

照明は礼拝堂エントランスホールにスイッチがある。

放送設備は講壇右側の調整室内に設置してある。

【斎藤次長、鈴木（陽）】

○ 礼拝堂内 受付（次第配付）3名【鈴木（陽）、石上、岩渕】

誘導 4名【二階堂、斎藤課長、若生課長、山田】

理事長、学院長、宗教部長対応

佐藤庶務部長（控室は宗教副部長室）

オルガニスト対応

斎藤庶務課長（控室は会議室1）

担当者控室

説教者控室

○ 駐車について

車両の入構は正門又は東門からになる。

学内教職員（関係者） 1号館南面の駐車場

一般参加者 東門より入構して奥（図書館南面）から駐車

正門前に「追悼礼拝駐車場」の看板を設置し、矢印で東門から入構するように案内。

東門担当者が駐車場へ誘導する。

3号館前担当者が駐車場へ誘導する。

理事長車は図書館北面に駐車。（自宅12:50発）

○ 看板設置

正門 1枚 東門 2枚 礼拝堂前 1枚（依頼済み）

○ 式終了予定 15:20

平成24年2月28日

次長・課長 殿

東北学院東日本大震災追悼礼拝準備委員会
委員長 柴田良孝

東北学院東日本大震災追悼礼拝に関する業務の依頼について

標記の件について、下記のとおり各係のご協力をお願い申し上げます。
なお、担当者名を3月2日（金）までご連絡下さいますよう併せてお願い申し上げます。
法人事務局担当者については、庶務課にて決めさせていただきます。

3月11日（日）

役 割	担 当 課	備 考（連絡事項等）
式典全般 (13:00～16:00)	庶務課	○式一切を総括するとともに、各責任者への業務連絡並びに円滑な式の進行を行う。
礼拝堂式場設営 (13:00～14:00)	庶務課 多賀城キャンパス庶務係	○花の装飾（業者） ○看板等の設置
控室設営 (13:00～14:00)	庶務課 多賀城キャンパス庶務係	○役職者控室（宗教副部長室） ○オルガニスト控室（会議室1）
接待関係 (13:30～15:30)	庶務課	○来賓の案内 ○役職者の案内 ○案内誘導
受付 (13:30～15:00)	法人事務局2名	○礼拝堂入口で次第の配布を行う。
式場内誘導整理 (13:30～15:00)	法人事務局2名	○受付後の案内誘導を行う。
駐車場整理 (13:30～15:30)	法人事務局2名 多賀城キャンパス管財係	○正門前の交通整理および案内誘導。 ○駐車場およびグランド内誘導整理。
音響・照明 (13:30～15:30)	多賀城キャンパス庶務係	○マイク音響並びに照明の調整。
広報・記録関係 (13:30～15:30)	広報課	○追悼式の記録撮影。
式場撤去 (15:30～16:00)	庶務課 多賀城キャンパス庶務係	○設置備品の撤去・片付け。

礼拝堂管理 多賀城キャンパス庶務係（2名）
13:00～16:00

駐車場管理 多賀城キャンパス管財係（1名）
13:00～16:00

礼拝堂暖房係 多賀城キャンパス管財係（1名）
13:00～16:00

第1回東北学院東日本大震災追悼礼拝準備委員会 議事録

日 時：平成 24 年 2 月 15 (水) 9:00～9:45

場 所：1 号館 6 階会議室

出席者：柴田良孝委員長、高橋清昭副委員長、佐藤範明、日野 哲、門脇邦知、鈴木義夫、
木村安博、斎藤淳、斎藤英夫 若生克義 駒板高明

欠席者：佐々木哲夫副部長、折原清

陪席(事務局)：佐々木克典、鈴木勝博

司会進行：柴田良孝委員長

議案及び審議経過

(1) 東北学院東日本大震災追悼礼拝について

配付資料を基に委員長より説明がなされた。

○式次第について(斎藤庶務課長説明)

- ・多賀城市式典には、遠藤銀朗先生が出席。
- ・その他市町村からの案内は、今日現在きていない。
- ・学院長が、文科省より内閣府による式典に招待されるため、追悼礼拝は欠席となり、挨拶が出来ない。よって、追悼礼拝・追悼式・追悼演奏の3部構成を、変更し、追悼礼拝の中に、理事長式辞を入れ、2部構成とする。(宗教部長へ確認要)
- ・プログラムに掲載する。犠牲者名簿は、中高、大学とも、入学予定者(入学手続き完了学生)と、卒業生(3/31まで在籍のため)を対象とする。
- ・対象犠牲学生の名簿掲載については、各部門で遺族に確認し承行い、その際、出席の確認も一緒に行う。
- ・出席される遺族へは、別途ご案内を庶務より送付する。
- ・出席遺族への、交通費等の支給は行わない。

○業務内容について

・事前準備(斎藤庶務課長説明)

多賀城キャンパス職員へは、庶務1名・管財1名・ボイラー担当1名の派遣依頼要
奏楽者への謝礼1万円。譜めくりバイトは5000円。

生花は、壺で1つ。

・当日準備(佐々木課長補佐説明)

当日、委員集合時間 13:30

東門より入校させる。

駐車場整理4名必要(1名多賀城管財依頼)

礼拝堂内担当1名は多賀城庶務依頼

当日の記録係 広報課へ依頼確認

当日、正門には、警備員立つ

学生車両は、許可証があるため、正門より入校

○案内について（資料２）

- ・教職員へは、メールにて案内を行う。メール内容は総務部長作成、配信。
- ・大学部門
 - チラシ設置
 - ボランティアステーション関係学生
 - オルガニスト、礼拝奉仕者へは、会合の際、口頭で連絡。詳細はHPにてと伝える。
 - 同窓会員へは、HP掲載と、常任委員会にてチラシ配布。
- ・中高・榴ヶ岡部門
 - チラシ設置
 - 宗教主任をはじめ、代表教員何名か出席予定。
- ・幼稚園部門
 - チラシ設置
 - 事務長、園長、教頭、教員代表者出席予定。
- ・理事監事へは、遺族案内文を加工し、発送。